



自然の中で心のふれあいを体験

「自然教室」実施校きまる

小・中で1163校内定

集団宿泊生活を通じて、児童・生徒と教師間の心のふれあいを育てる。文部省の自然教室推進事業が今年度から全国的にスタートするが、同省は五月二十三日これを実施する小・中学校の第一次内定分を発表した。実施学校総数は千百六十三校、うち六割の六百九十四校が中学校で、参加児童・生徒数は二千万三千六百四名となっている。期間は、基本の「五泊六日」は五%程度で、約八割の小・中学校は「三泊四日」を採用している模様である。なお、一次分内定通知は近日中に各学校までに出される見込み。

自然教室推進事業は、小・中学校の児童・生徒を対象にした集団宿泊を伴う学校教育を実践するもので、ふだんの学校生活では味わえない自然とのふれ合い、人間同志の心のふれあいを体験する。

文部省から出された自然教室の「ねらい」は、①規律ある集団宿泊生活を通じ、教師と子供や子供どうしの人間的な触れ合を深める②基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自律的に生活する態度を育てる③野外観察等を通じ自然と触れ合い、自然に対する理解を深めることになっている。

文部省から出された自然教室の「ねらい」は、①規律ある集団宿泊生活を通じ、教師と子供や子供どうしの人間的な触れ合を深める②基本的な生活習慣を身につけさせるとともに、自律的に生活する態度を育てる③野外観察等を通じ自然と触れ合い、自然に対する理解を深めることになっている。

昭和59年度自然教室推進事業実施計画

-第1次内定分-

(59.5.23まとめ)

| 区分 | 公立 | 私立 | 計 | 間教育計画に位置付け、正規の | |
|-----|----|---------|-------|----------------|-----|
| | | | | 小学校 | 中学校 |
| 小学校 | 校数 | 464 | 5 | 469 | |
| 小学校 | 人員 | 52,418 | 634 | 53,052 | |
| 中学校 | 校数 | 678 | 16 | 694 | |
| 中学校 | 人員 | 167,120 | 3,432 | 170,552 | |
| 合計 | 校数 | 1,142 | 21 | 1,163 | |
| 合計 | 人員 | 219,538 | 4,066 | 223,604 | |

一となつており、「特色」は(1)教科の授業などを含む学校の年間教育計画に位置付け、正規の学校教育活動として実施する。(2)従来から行われてきた集団宿泊訓練の長期にわたり実施することとなつていて、対象は原則として都会地における小学校の高学年並びに中学校の第一学年および第二学年の児童生徒のうち、各学校ごとに学年程度で、期間は原則として一週間(五泊六日)程度とする。

まず二泊四日実施が多数



発行所 財団法人
全国修学旅行研究協会
発行人 前田 寛
東京都千代田区西神田
2丁目8-7(幅ビル)
電話(03)2426-2932
振替(東京)3-36337

修学旅行は学習を社会に移したもので、生活指導及び集団訓練の好機会であり、教育計画の一環として行なう学校教育上極めて重要な行事である。従つて修学旅行を安全かつ有効に実施するための企画及び運営を科学的に調査研究して、常にその改善に努力しつつ教育効果の充実向上を図る事は必要であり教育界に課せられた責務である。
(財団法人・全国修学旅行研究協会の趣意書から)

度とするが、本年度においては、四泊五日または三泊四日の場合も対象となるものとする。利用施設は国公立の青年の家、少年自然の家その他地方公共団体が所管する施設等とする。

文部省がまとめた市町村、学

校法人からの実施計画による

と、小・中学校別では、中学校

の参加が多く、期間では「三泊四日」が約八割を占めたが、全

後長期間学習へ移行していくも

度とするが、本年度においては、四泊五日または三泊四日の場合も対象となるものとする。利用施設は国公立の青年の家、少年自然の家その他地方公共団体が所管する施設等とする。

文部省通知で示された野外観察、天体観察、地元の資料館等

地域もあり、県によりバラツキもあった。

活動の内容については、先に

借り受けた国有林を使っての植

林の体験学習を自然教室とタイ

のと思われる。

政令都市、首都圏の都市の一

部では極めて熱心なものが見受

けられたが、まだ実施の少ない

